

各校顧問 様

大阪高体連陸上競技専門部

大阪高体連主催競技会における「競技用靴規程の運用について」

5月に行われた大阪高校陸上競技対校選手権大会で、別紙「WA 陸上競技用靴規定の運用のポイント」を配布いたしました。その後の競技会において、厚さ規定に違反しているシューズやアップシューズ等で競技会に出場しようとして注意・指導を受ける選手が出ております。とくにフィールド競技用靴の規定の適用除外範囲を理解できていない事例が多く報告されております。大阪高校総体地区予選会では初めて出場する生徒も多くいると思われます。つきましては各校顧問の先生から、靴底規定についてのご指導と競技会で使用するシューズの確認をお願いいたします。

なお、今後の大阪高体連主催競技会では、競技注意事項に競技用靴規定を下記のとおり記載します。

2022年1月1日のWAの競技規則TR5の改正と新たに「競技用靴に関する規程」が導入されたことに基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長および競技役員はいつでもシューズチェックをすることができ、競技者はその指示に従わなければならない。明らかに規則・規程違反のシューズや疑わしいシューズは、チェックや回収の対象になることがある。競技後にシューズの違反が認められた場合は、審判長が「失格」と判断し、記録が取り消される場合がある。

競技用靴・靴底の厚さ

種 目	ソールの最大厚さ	その他の要件/注意
フィールド種目 (除：三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じ40mmとする。
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

※フィールド競技用靴においては、「靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない」の規定については、適用除外とするが、その他の規定(靴底の最大の厚さ)は遵守すること。